

ウンカ情報第1号

令和2年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今のところ、セジロウンカの発生量は平年並、
トビロウンカは確認されていません。

1 セジロウンカとトビロウンカの飛来解析

日本植物防疫協会提供の気象再解析データによる飛来解析から、6月末までのデータで愛知県には6月30日までに11回(5/10、6/11、6/12*、6/13*、6/14*、6/15、6/19、6/26、*印は2回)、セジロウンカとトビロウンカが飛来した可能性がある気象条件となりました。この状況は、トビロウンカによる坪枯れが9月以降に県内各地で多発した平成22(2010)年と似ています。

2 セジロウンカの発生状況

本年6月下旬の本田調査では、発生量は平年並です(表1)。また、予察灯での誘殺は、大口町で確認されています(表2)。例年、梅雨前線が北上して、大陸から本州にかけて位置すると飛来数が増加するので、ほ場での発生動向に注意してください。

表1 セジロウンカの本田調査結果(令和2年6月下旬)

| 調査方法 | 成虫 | 幼虫 | 計 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 粘着板による10株払い落とし | 0.00 (0.03) | 0.04 (0.10) | 0.04 (0.13) |
| 捕虫網による20回すくい取り | 0.04 (0.22) | 0.03 (0.02) | 0.07 (0.24) |

数値は県内払い落とし104ほ場、すくい取り104ほ場における調査結果の平均虫数
()内は平年値(平成22～令和元年の平均)

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数(頭:令和2年)

| 月 | 半旬 | 長久手市 | 大口町 | 弥富市 | 西尾市 | 豊川市 |
|----|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 5月 | 第6半旬 | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) |
| 6月 | 第1半旬 | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) |
| | 第2半旬 | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | - (0.0) |
| | 第3半旬 | 0 (0.0) | 1 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | - (0.0) |
| | 第4半旬 | 0 (0.1) | 0 (0.4) | 0 (0.0) | 0 (0.0) | 0 (0.0) |
| | 第5半旬 | 0 (0.1) | 0 (1.6) | 0 (0.0) | (0.0) | 0 (0.1) |

()内は平年値(平成22～令和元年の平均)、-は欠測、空欄は調査中

3 トビロウンカの発生状況

本年6月下旬の本田調査では生息を認めておらず、予察灯においても誘殺されていません。しかし、他県では5月3日に熊本県の予察灯で誘殺されたほか、6月には九州や和歌山県で予察灯への誘殺や本田で確認されています。例年、西日本を中心に被害がでていますので、本県でも注意が必要です。ほ場での発生動向に注意してください。